

## 平成 30 年度 エコモデル推進事業

### 静岡市立由比小学校

#### ●参加団体の概要

チーム名	静岡市立由比小学校 5年生
キャッチフレーズ	由比環境サミットを開こう
参加人数	5年生 42人(2クラス)
実施期間	平成30年5月～平成31年1月

#### ●活動内容

1	H30.5.25	環境問題について教えてもらおう
2	H30.6.20	由比と朝霧の自然について知ろう
3	H30.7.10	富士山(宝永火口)の自然を感じよう
4	H30.7.17	和瀬川・由比川の水について調べてみよう
5	H30.10.2	自分の調査について、経過報告をしよう 友だちや先生からアドバイスをしてもらおう
6	H31.1.26	由比環境サミットを開こう

#### ●活動内容の詳細

##### 1. 環境問題について教えてもらおう

日時：平成30年5月25日(金) 5時間目

会場：由比小学校 多目的室

内容：由比の自然環境を学ぶ前に、世界規模で起こっている環境問題を理解することが必要であるため、いくつかの環境問題の現状について授業を行った。

- ・地球規模、世界で起こっている環境問題について「ごみ問題」「生物多様性の喪失」「食糧自給率」「地球温暖化」など
- ・環境問題を調べる上で参考になる場所やホームページなど

## 2. 由比と朝霧の自然について知ろう

日時：平成 30 年 6 月 20 日（水） 5 時間目

会場：由比小学校 パソコン室

内容：由比地区と富士山、それぞれの自然環境について授業を行った。

- 由比地区については、地区を流れる由比川や、目の前に広がる駿河湾、標高 707m の石岳など、子ども達の身近な自然環境について解説をした。また、その豊かな自然の恩恵を受け、農林水産業が盛んであることを紹介した。
- 富士山については、7 月に予定している富士山宝永火口登山の行事に併せ、その事前学習を行った。富士山の成り立ちや溶岩トンネル、森林限界、富士山で見られる鳥・植物などをクイズ形式で出題し、子ども達が楽しんで理解を深めた。

## 3. 富士山（宝永火口）の自然を感じよう

日時：平成 30 年 7 月 10 日（火） 10 時 25～13 時 30 分

会場：富士山 宝永火口周遊コース

内容：富士山宝永火口周辺を散策しながら、動植物についての解説を行った。

4 グループに分かれ、グループごとに 1 人のガイドがついて案内をした。富士山における特徴的な地形や植生・生き物（鳥等）が見られる地点では、立ち止まって解説をした。

## 4. 和瀬川・由比川の水について調べてみよう

日時：平成 30 年 7 月 17 日（火） 2, 3 時間目

会場：和瀬川、由比川

内容：小学校のすぐそばにある 2 つの川（和瀬川、由比川）について、薬品を使った簡易水質調査と、生き物を捕獲して判断する水生生物調査を行った。

- 2 クラスが別々の川を担当し、2 種類の水質調査を行った。
- 水生生物調査では、捕獲した生き物の判別が必要となるため、専門知識を持った指導員が、生き物を確認した。最後に、2 種類の調査の結果から、川のきれいさについて解説をした。

#### 5. 自分の調査について、経過報告をしよう。友だちや先生からアドバイスをしてもらおう。

日時：平成30年10月2日（火）4、5時間目

会場：由比小学校 多目的室

内容：これまで調べ学習をしてきた内容を1人1分程度で発表した。それに対して講師が全体的に助言し、児童が同じテーマ同士や参考になる内容について話し合った。

- 児童が選んだのは、和瀬川や由比川の水質について、川のごみの量、紙ゴミリサイクル、陣笠山の植物・生き物について等のテーマで、特に川の水質、川のごみをテーマにした児童が多かった。
- 講師からは、『いつ（何時何分、天気や気温まで）どこで（地図上で示す）を明らかにすること。「〇〇は見つからなかった」で終わりではなくどういう状況（条件）なのかをはっきりさせる。偶然性にたよらない。はっきりするまでとことん調べる。』といったアドバイスを受けた。

#### 6. 由比環境サミットを開こう

日時：平成31年1月26日（土）10：30～12：00

会場：由比小学校 教室

内容：子ども達1人1人が調べてきた内容をそれぞれ画用紙にまとめ、地域の方が集まる参観会の場で発表を行った。調べたテーマは個人で異なったが、由比川のごみの量を定期的に調べたり、川の水質を上流と下流で比較したり、川に関する事を調べていた子どもが多かった。発表が終わった後に、グループで話し合う時間が設けられ、自分たちにできることは何か、意見を出し合い1つにまとめた。あるグループでは、「ごみや生活排水が環境に悪影響を与えている。ごみをなるべく出さないようにし、ごみをポイ捨てする人がいたら注意したい。」との意見にまとまった。この活動を通して、子ども達の環境保全に対する意識が変化していたように感じた。